

1	公開授業実施日時	2017年11月6日（月）14:20～15:10
2	場所	京都教育大学附属桃山中学校 2年2組教室
3	対象	2年2組（中学校2年生）37名
4	授業者	有田有志
5	島名	グローバル・エシックス
6	単元名	世界にある、いじめ、差別に対して自分は何をする？
7	関連する教科・領域	道徳科
8	単元の目標・ねらい	海外で生活した生徒から見た「差別とは何か」と「いじめの対策」のスピーチ文を鑑賞した上で、海外からの転校生がいじめられている状況に対して自分が何ができるかを考えることができる。
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	共に学校に通ったり仕事をする外国人や帰国子女に対する偏見等に立ち向かう行動について考える。 ・グローバル社会に見られる課題を知る。 ・社会的な課題に対するさまざまな捉え方があることを理解することができる。 ・世界の人々とともに生きていくための課題の解決に自分がどのように関わるかを考えることができる。 ・日本語や外国語によるコミュニケーションを通して、クラスの仲間と関係を構築することができる。
10	単元の評価規準【教科・領域として】	・振り返りシートの「課題について、自分なりに考えることができた。」に○がついているか。 ・振り返りシートの「ペアの人や、班の人に自分の考えを伝えようとできた。」に○がついているか。 ・振り返りシートの「ペアの人や、班の人の意見を聞こう、聞き出そうという態度を持てた。」に○がついているか。 ・振り返りシートに自分が感じたことや考えたことを記入しているか。
11	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	○差別について日本と外国の差別の違いについて考えることができている。(思考) ○帰国子女に対する差別行動に対して、自分なりに解決策を考えができている。(思考・判断)
12	単元計画	1時間単元
13	本時の目標	海外で生活した生徒から見た「差別とは何か」と「いじめの対策」のスピーチ文を鑑賞した上で、海外からの転校生がいじめられている状況に対して自分が何ができるかを考えることができる。
14	本時の展開	《別紙指導案を参照》

15	グローバル・スタディーズとしての特徴	<p>海外で生活した生徒から見た「差別とは何か」と「いじめの対策」を知った上で、帰国子女のクラスメートがいじめにあっている状況の解決策を考える。</p> <p>日本語が不自由な人の考え方をよりよく理解し、こちらの考え方を伝えることが「差別・いじめ」の解決策になり得ることに気付くことができる。</p>
16	授業者から一言	<p>今後増加が予想される、日本語が不自由な生徒との間で生じるトラブルに對処するために、コミュニケーションをしっかりとることの重要性に生徒達は自分たちで気づくことができました。</p>

第2学年 道徳科学習指導略案

指導者 有田 有志

1. 日時 平成29年11月6日（月曜） 第3校時

2. 学年・組 第2学年 2組 計37名

3. 場所 第2学年2組 教室

4. 単元名 「世界にある、いじめ、差別に対して自分は何をする？」

5. 単元の目標

海外で生活した生徒から見た「差別とは何か」、と「いじめの対策」のスピーチ文を鑑賞した上で、海外からの転校生がいじめられている状況に対して自分が何ができるかを考えることができる。

6. 単元について

①教材観

今後海外から日本に移住してきた人々と様々な場面で共に学んだり、働いたりする生徒たちにとって、偏見にまどわされず、それらの人々と主体的に関係を築きために考えて行動することは身近で重要となってくる。そのきっかけとして、教材は教科書等の資料は用いず、本校帰国生徒が作成したスピーチ原稿と、授業者である私が体験した海外からの転入生がクラスの一部の生徒に嫌われ、差別された実例を用いて生徒たちに考えさせる。同じ学校で学ぶ生徒が書いたスピーチ文は、日常ではありませんが「差別・偏見・国によってことなる学校のいじめ対策」について知ることができる教材である。また、どの学校でも起きる「自分と異なる人」に対する差別、拒絶が教室内で起こったという状況設定をして、自分がどう行動するかを考えさせることができる教材となっている。

②生徒観

指導者である私は第1学年担当であり、この学年、学級ともに授業を受け持つことはない。ただし、この学級においては昨年、今年と部活動で担当している生徒が37人中6名おり、これらの生徒については前向きで積極的な姿を見ている。他の生徒についても、毎朝クラス朝礼前に私が教室を見回ったり、昼食時に私が日替わりで全学年の全クラスを訪れて昼食を食べているため、半数程度の生徒の顔はわかり、言葉を交わしたことがある。明るく素直な生徒が多いが、初対面の人にうううしく話しかけるような雰囲気はない。指示されたことはできる生徒が多いが、積極的に他者にはたらきかける態度はまだ身についていないという印象を受ける集団である。今回のような「この状況に対して、何ができるか考えてみよう。」という課題に対して、グループで話し合わせるにしても、工夫が必要とされる集団であることが予想される。

③指導観

上記のような集団であること、また、生徒たちにとって私の授業を受けることがはじめてであることを考慮して、アイスブレイキングを行う。私の学年の授業で行う英語で数を数え上げるという単純なものであるが、相手を意識して行うため、適度な緊張と言い間違えが起こったときに

笑いが出るなど、明るく元気な雰囲気を5分程度でつくることができる。

続いて、本日の目標を示し、これから時代に生きていく中で大切なことについて学ぶことを意識づける。身近ないじめについてグループで話合わせ、短く聞き取りを行い、続いて帰国生が体験した差別等を学ぶために、スピーチ原稿をプロジェクターに投影して読ませる。その後、

「先生のクラスで実際に起こった海外からの転校生に対する差別的行動」を止めるために何をするかを集団で考えさせる。「解決できなくとも、何をするかを共同して考える態度を身に着けることが大切である。」ことを強調する。小白板に書き出させる。それらを教室の前に貼りだし、共有する。その後、実際に私のクラスの生徒がとった対策と、結果を知らせ、ふりかえりシートに記入をさせる。

7. 評価の観点と方法

- ・振り返りシートの「課題について、自分なりに考えることができた。」に○がついているか。
- ・振り返りシートの「ペアの人や、班の人に自分の考えを伝えようとできた。」に○がついているか。
- ・振り返りシートの「ペアの人や、班の人の意見を聞こう、聞き出そうという態度を持てた。」に○がついているか。
- ・振り返りシートに自分が感じたことや考えたことを記入しているか。

8. 本時の展開

区分	学習活動と内容	指導上の留意点・支援・評価	準備物・資料等
アイスブレイキング (5分)	・2人1組で英語で奇数役と偶数役を決め、1から20までをカウントアップし、カウントダウンさせる。	・1名指名し、指導者と手本を全体に示す。楽しい雰囲気をつくるように声掛けを行う。	大画面タイマー
導入(5分)	・本時の目標を白板に示す。 じやんけんをさせ、勝者が敗者に「ねえねえ、どんないじめがあったー?」と話しかけるように指示し、話し合わせる。 ・数名の生徒を指名し、発表させる。	・発表する生徒に注意が向くように、生徒集団に声掛けを行う。	
展開1 (10分)	・外国での差別、いじめについて学ぶため、帰国生スピーチをプロジェクターで提示し、全員で読ませる。	・生徒を指名して音読させる。指導者は生徒の視線を確認する。	スライド(PDF)
展開2	・指導者のクラスで実際に起こった海外からの転入生に対する差別行動	・教室内にある消毒液等を実際に使い、動きまわりながら実演す	小白板

	<p>を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この状況に対して、自分が止めるために何をするかを個人で考えさせる。(2分) ・小白板を配布して、班で考えを共有させ、その中で生まれたアイデアを記入させる。 ・小白板を回収し、教室前に掲示しつつ、紹介する。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず自分なりに考えようとする態度が大切であると知らせる。 ・自分のアイデアを他人に知らせることが、新しいアイデアを生み出すきっかけとなることを知らせる。 ・意見を書いた班とやりとりをしながら貼りだす。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に指導者のクラスで生徒がとった行動を紹介する。 ・振り返りシートに記入をする。(5分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずやりたいことを持ち、そのために自分と異なる人と協力して考えることが大切であり、それを実行してみることが大切であること、そうする中で自分と異なる感覚を持つ人でも、説得することができる場合があること、これから世界の人々と接する中でも、そういう態度が必要であることの3つを伝える。 	振り返りシート

⑤準備物

- ・プロジェクター、コンピュータ、デスクトップタイマー、

本日のテーマ：「世界にある、いじめ、差別に対して自分は何をする？」

課題：この状況で、あなたはどう行動しますか？

班の人と話す中で生まれた考えがあれば、書いてください。

振り返り：あてはまるものにすべて○してください

- ・1 課題について、自分なりに考えることができた。 A B C
- ・2 ペアの人や、班の人に自分の考えを伝えようとできた。 A B C
- ・3 ペアの人や、班の人の意見を聞こう、聞き出そうという態度を持てた。 A B C
- ・4 今日の授業について • 面白かった • 普通 • おもしろくなかった

自分が感じたことや考えたことを記入してください。
